

様似山道とアポイ岳（810m）

2025年5月4日（日・祝）～5月5日（月・祝）

参加者 L：SW 田、SL：SS 山、会計：Y 樫、気象：U 杉、G 藤、 5名
5/5 様似山道 約9km、4時間半。獲得標高500m。
5/6 アポイ岳 9.8km、約6時間。獲得標高815m。
宿泊場所 アポイ山麓自然公園内キャンプ場にてテント3張りで宿泊。

2日間の参加者は5人。うち1人は2日目のアポイ岳のみの参加で、初日の様似山道は4人で行動した。

最初の計画ではアポイ岳を登ってから翌日様似山道を歩くことにしていたが、天気の回復を考え、先に様似山道を歩くことにした。これが正解だった。雨の後の様似山道の歩きは一般向きでなく、登山経験者でないと難儀する場所が多い場所であった。ところどころにある標識をしっかりと見ていないと道に迷いやすい箇所もあった。



幌満のコミュニティセンターに車を置き、歩き始めた。



写真を見たら分かるが、崩れやすい山道で、沢を渡ったり、フィックスロープがある斜面が急なところを通過したりで足がすくむところが少なからずあった。

下山終了後、記録を見たら、上り下りで獲得標高は500mを超えていた。

先人が山道を重い荷物を背負って行き来していたとはその苦労は並大抵のことではなかったに違いない。



写真上の右下に横たわっているのは古い電柱。割れた碓子（ガイシ：電線とその支持物とのあいだを絶縁する白い器具のこと）があった。右の写真は「山中遺跡」の紹介看板。



山道の少し開けたところに石があったがこれが遺跡らしい。
この付近の昆布はブランド「冬島昆布」で、砂利敷は昆布干し場だ。



下山終了後、国道沿いを歩き、えりも漁協冬島支所横に停めていた車で、幌満コミュニティセンターに置いていた車を回収して宿泊場所に移動した。

2日目のアポイ岳登山はG藤さんが早朝から参加し、登り始めは7時。



何度も登っているアポイ岳は花の時期には早く、アポイ岳固有種の花は見当たらなかった。



休憩所の外にいた夫婦から、「昨日、国道を歩いていたグループですよ」と声を掛けられ、夫婦はえりも岬へ行く途中と帰りの途中の2回、私たちが国道を歩いていたところを見たという。「どこを歩いていたのですか」に「様似山道を歩きました。私たち登別山岳会です」としっかりと会のことを宣伝し、しばらく歓談。

下山はそのまま登って来たところを降りず、幌満コースの途中まで足を延ばし、650m 地点の分岐に戻り、13時に登山口に着いた。



本格的な昼食はキャンプ場で取り、出発前にそのままにしておいた乾いた TENT をしまい、ジオパークビジターセンターで様似の地質や自然、歴史を勉強した後、三石の温泉「蔵三」に入浴し、帰宅した。

お付き合いいただいた皆さん、ありがとうございました。楽しい2日間でした。

(記録 リーダーSW田)